

VII 施設案内

- 1 附属図書館
- 2 総合博物館
- 3 情報環境機構
- 4 京都大学以外の施設利用案内

1 附属図書館—学習活動を支える知的空間／創造の広場—

- ・学内には、附属図書館をはじめ、宇治分館と50カ所に学部や学科図書室があります。皆さんの学習や勉学を支えるための施設です。
- ・学術情報を必要としている広範囲な人々に、門戸を広げてサービスを行っています。
- ・専門的な資料は、学部や学科図書室にあります。

[図書館の利用]

- ・附属図書館と部局図書室（館）の利用や図書の貸出には、学生証が必要です。
- ・附属図書館の開館時間

平 日 午前 9 時～午後 1 0 時

土曜日／日曜日／国民の祝日等 午前 1 0 時～午後 5 時

- ・附属図書館の休館日

年末年始（12月29日～1月3日）

図書整理等による休館日（4月1～5日，12月25～28日，1月4～5日）

夏季／冬季休業期間中の土／日曜日

毎月末日（末日が土／日曜日／祝日にあたる時は，その前日の平日開館日，試験期間中は期間終了後の平日開館日）

以上のほか，臨時に休館することがあります。

[豊富な資料群]

- ・創立より100年以上にわたる歴史から，蔵書数は全学で約610万冊を数えています。その中には，国宝や重要文化財があり，質量ともにわが国有数の図書館です。
- ・学習図書，教養図書のほか，研究資料，視聴覚資料，マイクロフィルム，CD-ROM，インターネットによる情報の収集が自由に出来ます。



附属図書館全景



1階メインカウンター



1階雑誌閲覧コーナー



2階開架閲覧室



2階開架書架



3階情報端末室

[図書館資料の配置]

- ・ 1 階 雑誌, 新聞, 参考図書
- ・ 2 階 開架図書
- ・ 地階 書庫内図書, バックナンバーセンター

[附属図書館の設備]

- ・ 電子図書館, オンライン目録, 電子ジャーナルを利用したい。 → 1 階「サイバースペース」へどうぞ
- ・ 文献や調査の相談をしたい。 → 1 階⑦番 参考調査カウンターへどうぞ
- ・ インターネットを利用したい。 → 3 階「情報端末室」へどうぞ
- ・ 自分のパソコンでインターネットを利用したい。 → 3 階「閲覧室」へどうぞ
- ・ ビデオ, DVDを利用したい。 → 3 階「メディア・コモン」へどうぞ

[図書館の活用方法]

- ・ OPAC基礎/Web of Science/電子ジャーナル入門等各種講習会の実施
- ・ 新入生/留学生のためのオリエンテーションの実施
- ・ 情報リテラシー教育の実施→全学共通科目「情報探索入門」の提供

＊ ＊ ご不明な点は, 気楽に図書館員にお尋ねください。

電子図書館Webサイト

<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/minds.html>



電子ジャーナル

学内のみ提供のタイトル数: 約11,000

学術雑誌をそのまま電子化し, パソコンの画面上で読めるようにしたものです。研究者は図書館まで足を運ばなくても自分の研究室から24時間雑誌論文を読むことができます。

電子図書館にはそのほか

『博士論文論題一覧』

『学内研究成果』などがあります。

2 総合博物館

総合博物館では、京都大学開校以来100年余りの間に収集され、研究や教育に活用されてきた250万点に及ぶ学術標本資料が保存されています。その内容は、文化史・自然史・技術史の広い分野にまたがる多彩なもので、国宝・重要文化財やそれに準ずる資料が多数含まれています。また、新発見された生物・化石の新種の第一標本である「タイプ標本」、後世の研究者が再吟味するための「パウチャー標本」も数多く収蔵されています。

これらの学術標本資料を、独自に開発した方法を用いるなど劣化防止策を講じながら保管・管理し、様々な研究の材料として提供しています。卒業論文や修士・博士論文のための研究に活用してください。

また、文系・理系の幅広い分野にまたがる教員が在籍し、活発な研究教育活動を行っています。標本の利用や、研究テーマなどについて気軽にアドバイスを受けることができます。

さらに、常設展示、年2回の企画展示・公開講座、頻繁に開かれる学習教室・体験教室を通じて、京都大学における学術活動の成果を公開する役割も担っています。これらの展示や催しを通じて、諸先輩の優れた研究に触れることにより、知的刺激を受けたり、研究のヒントを得ることができるかもしれません。

今年、総合博物館は発足10年の節目を迎えます。まだまだ若い組織ですが、社会に開かれた大学の窓口として、学内はもとより広く地域市民の方々からも、京都大学とアイデンティティを共有できる場として認知されつつあります。今後、様々な活用がなされるよう、より一層の努力を続けていきます。

利用案内

本学の学生は無料（学生証を提示）で入館できます。

総合博物館の詳しい情報はホームページで発信しています。

(<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/indexj.html>)

開館時間 9:30~16:30（入館は16:00まで）

休館日 月曜・火曜（祝日にかかわらず）及び年末・年始（12月28日~1月4日）



3 情報環境機構

情報環境機構は教育・研究など本学のさまざまな活動を支える高い安全性と利便性を備えた先端的情報環境の構築・運営を目的として、研究開発を担う学術情報メディアセンターと種々の情報サービスを提供する情報環境部という構成で活動しています。本機構では学内外を高速のネットワークで結ぶ学術情報ネットワークサービス（KUINS）、全国共同利用のスーパーコンピューティングサービスを提供する大型計算機システムや学術データベースのサービス、本学での教育を支援する教育用コンピュータシステム、語学学習システム、遠隔講義支援サービス、コンテンツ作成支援サービスなど多様な情報サービスを統一的に提供しています。

（１）教育用コンピュータシステム

本機構では全学の学生・教職員が利用できる教育用コンピュータシステムとしてパーソナルコンピュータ（PC）約1100台を学術情報メディアセンター南館と各学部サテライト演習室に配置し、もっぱら授業での利用に供するとともに、一部を自習専用としてセンター南館1階、附属図書館3階、総合人間学部図書館2階などにオープンスペースラボラトリ（OSL）として配置しています。サテライトの演習室は、それぞれの学部の講義・演習に利用されますが、授業等の占有利用時間外の運用は学部によって異なります。利用を希望する人は各学部を確認してください。教育用コンピュータシステムのすべてのPCは学内ネットワークで接続されており、利用資格・パスワードの照合、各自のファイルの保存、利用統計の収集などを行っています。これらのPCには各種ソフトウェアが導入されており、レポートの作成やプログラミングの学習、WWW（World Wide Web）による情報収集や電子メールによる情報交換が行えます。入学と同時に必ず利用資格を取得し、大学生活に活用して下さい。

この他、本機構では、外国語会話の双方向での学習を支援する語学学習（CALL, Computer Assisted Language Learning）システムを備えた教室や、CALL教材の自習コーナーを設置しており、また各学部設置された遠隔講義システムにより学部間や他大学との遠隔講義の支援も行っています。

（２）利用資格の取得

教育用コンピュータシステムの利用者番号は、本機構が年度初め等に開催する講習会を受講し、利用規程・心得の遵守についての誓約書を提出した人へのみに開示します。原則としてこの講習会を受講しない限り利用者番号と初期パスワードの入手はできません。授業などで急に必要になっても、そのつど開示する対応は取っていません。利用者番号は在学期間中有効です。また転部や大学院への進学に際しても同じ利用者番号と電子メールアドレスを継続的に利用できます。

講習会の日程は各学部とセンターの掲示板、Webサイトに掲示しますので注意して下さい。

（３）オープンスペースラボラトリ（OSL）の運用

学術情報メディアセンター南館のOSLにはPC110台を設置しています。入室には磁気カード型の学生証もしくは図書館の入室カードが必要です。利用時に忘れないように携行して下さい。また、OSLの利用にあたっては利用規則の遵守をお願いしています。OSLでは利用者の補助のためにティーチングアシスタント（TA）として大学院生が駐在しています。利用にあたって不明な点などはTAに相談して解決して下さい。なお、各種ソフトウェアの利用方法については、市販の書籍などを参照して下さい。

開館時間

- ・センター南館OSL：月曜日～金曜日（ただし、国民の祝日等は休館）午前10時～午後8時
- ・附属図書館，総合人間学部図書館OSL：各館の開館時間に従います。

OSLの運用については機構のWebサイト（URL <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/>）を参照して下さい。

（４）賢い利用者になるために

OSLは利用規程に則り可能な限り広く利用して頂くことを考えていますが，ネットワークに接続されたPCの利用には注意を要する事項がいくつかあります。情報・ネットワーク社会の特性や求められるルールを学び，適切な利用を心がけて下さい。例えば情報の著作権の尊重，ネットワークや計算機への適正なアクセス，自分自身の情報を含めた個人情報の慎重な扱いとプライバシーの尊重，電子的なコミュニケーションで生じやすいトラブルの回避などです。

また，教育用コンピュータシステムではPCやファイルサーバ，プリンタなどは限られた資源を多くの利用者が共同で利用しています。他の利用者に配慮し，許された利用条件の範囲で有効に利用して下さい。設備やソフトウェアは貸借物品ですので大切に扱って下さい。機器やソフトウェアについては保守や更新を行っていますが，必ずしも個人の希望に沿った新規導入などができるわけではないことにもご理解下さい。



学術情報メディアセンター南館（OSL）建物



OSL風景

（５）大型計算機（スーパーコンピュータ等）の利用について

学術情報メディアセンターは全国共同利用機関としての一面も担っています。大規模計算向けにスーパーコンピュータやデータベース検索のサービス（有料）を行っており，このサービスを利用することで，PCなどの小規模な計算機では解くことのできない大容量の計算を高速に実行したり，学術研究上必要な文献の検索を行うことができます。

四回生の学部学生は卒業研究の目的で指導教員の監督の下にこのサービスを利用できます。また，四回生以外でも，「コンピュータ概論A，B」，「スーパーコンピューティング入門」，「コンピュータネットワーク入門」の全学共通科目を履修すると，履修期間中，自習のために本サービスを無料で利用することができます。

4 京都大学以外の施設利用案内

(1) 京都府立ゼミナールハウス

〒601-0533

京都市右京区京北下中町鳥谷2番地

電話 0771-54-0216

※申し込み方法

来館及び電話で予約します。

(利用を希望する日の1年前から受付可)

※休館日

年末年始(12/28～1/4)

第3月曜日(第3月曜日が国民の祝日に当たるときは、その翌日)

※その他

食事料金 2,940円～(ただし3食, 朝昼夕食消費税含む)

宿泊料金 1,500円～

宿泊定員 最大200名

研修室料金 洋室20人用1日4,000円～(洋室6室・和室10室有り)

FAX 0771-54-0316

ホームページ <http://kyosemi.or.jp/>

E-mail kyosemi@oak.ocn.ne.jp



(2) 独立行政法人国立青年少年教育振興機構

国立淡路青少年交流の家

〒656-0543

兵庫県南あわじ市阿万塩屋町757-39

電話 0799-55-2696(事業課業務係)

※申し込み方法

電話で予約します。

(利用を希望する日の1年前から受付可)

詳細は、上記まで。

※休館日

年末年始(12/28～1/3)

※その他

食事料金 1,600円(3食)

宿泊・施設等使用料 無料

(シーツ代金160円のみ必要)

宿泊定員 400名

FAX 0799-55-0463

ホームページ <http://www.awaji.go.jp/>

iモード <http://www.awaji.go.jp/i>



(3) 独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

〒917-0198

福井県小浜市田島区大浜

電話 0770-54-3100

※申し込み方法

電話で予約します。(平成19年4月より

ホームページ上でも予約受付予定)

詳細は、上記まで。

※休館日

年末年始(12/28～1/4)

※その他

食事料金 1,600円(3食)

宿泊料金 無料(シーツ等洗濯費用160円要)

宿泊定員 300名

2名以上であれば利用可。日帰り利用も可。

FAX 0770-54-3023

ホームページ <http://wakasawan.niye.go.jp/>

E-mail wakasawan@niye.go.jp



(4) 独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立曽爾青少年自然の家

〒633-1202

奈良県宇陀郡曽爾村太良路1170

電話 0745-96-2121

※申し込み方法

電話で予約します。

詳細は、上記まで。

※休館日

年末年始(12/28～1/4)

施設・設備整備の日

※その他

食事料金 1,600円(3食)

シーツ等洗濯費用 160円

宿泊定員 490名(キャンプ場含む)

2名以上であれば利用可。日帰り利用も可。

FAX 0745-96-2126

ホームページ <http://soni.niye.go.jp/>

